

令和5年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

① 高齢化の進んだ山村の地域資源である森林空間と有用植物の新たな活用に関する調査

(助成者) (公社) 国土緑化推進機構

(期 間) 令和4年7月～令和5年6月

(概 要) 文化的・自然的資源としてポテンシャルを有する地域資源の森林空間の有効活用について、地域資源を活用したアクティビティとして有用植物である薬草を使った料理講座、森林を荒廃から保全するために整備した山道をハイキングなどの森林空間利用に活用、伝統的な生薬づくりを伝承していくために原料となるキハダ等の原料栽培の取組、森林空間や有用植物を利用して多角経営の取組などの事例を調査し、「山村の地域資源としての森林空間と有用植物の活用の事例」として報告書を作成し、関係者に配布した。

② 障がい者・高齢者の保健休養活動及びレクリエーションによる森林空間利用促進事業

(助成者) (一財) 日本森林林業振興会

(期 間) 令和4年9月～令和6年6月

(概 要) 障がい者・高齢者が森林のアメニティの恩恵を享受するため、プログラムの実行の担い手の人材育成のためのワークショップの開催、障がい者や高齢者が利用している森林空間の環境条件の調査、普及啓発活動としてのフォーラの開催等を実施した。

(2) 調査研究活動の成果の普及

「山村の地域資源としての森林空間と有用植物の活用の事例」を会員及び林野庁、森林管理局等の関係機関並びに森林公園等関係者に配布するとともに、既刊の「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から

学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」、「障がい者・高齢者のための森林のレクリエーション利用のてびき」等の普及に努めた。

また、「森林インストラクター養成講習テキスト 改訂7版」を一般配布するとともに、森林体験活動に必要な資材等の助成を行った。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.431(2023年4月)～No.442(2024年3月)、各号810～870部）。

(機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ)

- ① 森林レクリエーション活動に関する情報
 - 群馬の中之条六合エリアはアウトドアの魅力がいっぱい！野反湖うらやまガイドが発信(1), (2) (No.432, 433)
 - 日本のトレイルの未来 海外のトレイル事情と日本の現状を踏まえ(1), (2) (No.435, 442)
 - 令和5年度「山の日」記念行事の開催 (No.439)
- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
 - 〈連載〉森林と健康－森林浴、森林療法のいま－第27回, 第28回, 第29回, 第30回 (No.434, 437, 441, 442)
 - 森林空間を利用したカウンセリング (No. 442)
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - 詳しすぎる高尾山ガイドブック(7), (8), (9), (10), (11), (12) (No.431, 433, 436, 438, 439, 441)
 - 第35回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の活動(1), (2) (No.436, 437)
 - 山村地域にある有用植物の活用－伝統を受け継ぐ薬の製造会社を訪ねて－ (No.439)
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
 - 令和5年度山火事予防ポスター用原画・標語募集 (No.433)
 - 緑の募金 (No.436, 441)

⑤ 当協会に関する情報

- 第 35 回森林レクリエーション全国研修会－自然豊かな北海道十勝の森林レクリエーションエリアを巡る－ (No.431)
- 第 74 回理事会の開催 (No.432)
- 支部運営会議等の開催 (No.437, 438)
- 第 35 回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の発表・プロフィール (No.433, 434)
- 第 39 回通常総会の開催 (No.434)
- 第 36 回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」推薦募集 (No.438, 439, 440)
- 令和 5 年度森林インストラクター「資格試験」及び「養成講習」のご案内・お知らせ (No.431, 432, 434)
- 令和 5 年度森林インストラクター資格試験合格者の発表 (No. 440)

⑥ その他の情報

- 樹木名の話(6), (7), (8) (No.432, 435, 438)

(2) 会員への情報提供等

森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集を行うとともに、会員のメーリングリストにより会員への情報提供を適宜行った。

また、協会関連ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

(3) 森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」の実施（旧森林レクリエーション地域美化活動コンクール）

第 35 回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」の審査を実施し、審査の結果、農林水産大臣賞 1 団体、林野庁長官賞 2 団体、当協会会長賞 4 団体及び奨励賞 7 団体を決定した。また、第 39 回通常総会において表彰式を実施した。

第 36 回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」として、都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション活動が行われている地域において、景観の保全・向上のための森林整備、利用者の利便性、安全性の向上のための施設整備、森林の有効活用によるレクリエーション活動、美化のための清掃・ゴミ拾い及び動植物の保護のための

活動等を積極的に行っている学校、地域グループ、職場グループなどのボランティア団体等の推薦募集（締め切りは令和6年2月15日）を実施し、23団体の推薦があった。

なお、審査委員会は令和6年4月に実施した。審査の結果、次の受賞団体が決定した。

- 農林水産大臣賞（1点）
南会津の湿原を守る会（福島県南会津町）
- 林野庁長官賞（2点）
おがわ富士を守る会（茨城県常陸大宮市）
菊池溪谷を美しくする保護管理協議会（熊本県菊池市）
- 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞（5点）
滝上町みどりの森林推進協議会（北海道滝上町）
檜山古事の森育成協議会（北海道江差町）
おもてごう里山クラブ（福島県白河市）
神鋼真岡旧友会（栃木県真岡市）
小里川ダム里山教室（岐阜県瑞浪市）
- 奨励賞（5点）
ユウパニコザクラの会（北海道夕張市）
仁別森林博物館ボランティア案内人会（秋田県秋田市）
敦賀市立松原小学校・松陵中学校（福井県敦賀市）
山梨県立韮崎工業高等学校ボランティア委員会（山梨県韮崎市）
亀山市加太みどりの少年隊（三重県亀山市）

(4) 第36回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 近江・びわ湖・奥伊吹の森林レクリエーションエリアを巡る
開催時期 令和5年10月23日（月）～24日（火）
開催場所 滋賀県米原市及び大津市ほか
参加人員 35人
研修内容 米原市のグランスノー奥伊吹（スキー場、水力発電ほか関連施設）、古民家「そよも」（空き家対策施設）、グリーンパーク山東（米原市関連施設のPFI法による管理運営）、近江湖南アルプス自然休養林、大津市のびわ湖バレースキー場・びわ湖テラスを視察。

(5) 「山の日」記念行事の実施

令和5年11月9日(木)に「山の日」記念行事として、(一財)日本森林林業振興会及び(一社)日本森林インストラクター協会との共催により、「豪雪地帯の里山を訪ねる～講演と美人林・清津峡・十日町市博物館を巡る～」を新潟県十日町市において実施した。清津峡溪谷トンネルからの清津峡観賞の後、美人林の散策と隣接する里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロにおいて、小林誠学芸員の「豪雪地帯の里山のブナ林が育む生物多様性のめぐみ」と題する講演が行われた。最後に十日町市博物館で火焰型土器等の展示を鑑賞した。公募による一般参加者、スタッフ等約50名が参加した。

(6) 森林環境教育ネットワーク事業

森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信。

- ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営

URL : <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

(7) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

- ① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(年4回、各回850～900部)
- ② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供
- ③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ
- ④ 資料の配布、インストラクターや認定活動の紹介等の活動を実施。

(8) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4回)や現地研修会(1回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム
令和5年度（令和5年1月～令和5年12月）の活動状況

研究会等の開催	テーマ・講師等
第1回研究会 (3月14日)	○サクラの新しい分類と桜樹の管理 講師 (公社)大日本山林会 名誉会長 田中 潔 氏 ※当研究会は、会場への出席のほか、会員及び当協会会員へ ZOOM ウェビナーで配信した。
第2回研究会 (10月18日)	① 森林環境譲与税の更なる活用について 講師 林野庁森林利用課森林集積推進室 室長 城 風人 氏 ② 山村地域の森林空間と有用植物の活用事例 講師 樹づ木合同会社 代表社員 竹内 啓恵 氏
現地研修会 (10月23日～24日)	開催場所 滋賀県米原市及び大津市ほか 「近江・びわ湖・奥伊吹の森林レクリエーションエリアを 巡る」 (第36回森林レクリエーション全国研修会に併せて開催)
第3回研究会 (11月14日)	① 林野分野のスマホ活用 講師 (一社)林業機械化協会 総括技術調査役 木村 穰 氏 ② 国有林野の一般会計化後の10年を振り返る 講師 林野庁国有林野部 部長 橋 政行 氏
第4回研究会 (12月11日)	① なぜ、クマは森から出たのか？ 講師 東京農工大学大学院 教授 小池 伸介 氏 ② 森林計測における効果的なレーザスキャナーの活用について 講師 (一財)日本森林林業振興会 森林調査部主任研究員 千葉 幸弘 氏

(10) 他団体主催行事への後援等

- ① 第32回森と花の祭典・みどりの感謝祭（協賛）
令和5年5月13日（イイノホール）

- ② 農林水産省「消費者の部屋」特別展示「国有林野で学び、遊ぼう」（協力）
令和5年12月11日～12月15日（農林水産省）
- ③ 令和5年度国有林野事業業務研究発表会（協会会長賞の授与）
令和5年11月30日（林野庁）
 - 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞
（森林ふれあい・地域連携部門）
課題名 高尾山におけるボランティア団体等と連携した森林保全活動（歩道修繕）の取組について
受賞者 関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター
久保 武典 氏
- ④ シンポジウム「森林と健康の新時代―脱コロナ禍の若者たちへ―」（後援）
令和5年9月30日（一般財団法人林業経済研究所）
- ⑤ IZU TRAIL Journey2023（後援）
令和5年12月10日（松崎町松崎～伊豆市修善寺温泉）

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの資格試験を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

令和5年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（令和5年2月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（令和5年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区 分	科 目	期 間	日数	場 所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森 林	5.13～5.15 (6.2)	3	東京都文京区 林野会館	74(38)人
	野外活動等	5.27～5.29	3		69(32)人
	林 業	6.17～6.18	2		73(34)人
講習Ⅱ (全科目講習)	4 科 目	8.12～8.19 (9.2)	8	東京都文京区 林野会館	61(28)人

(注) 1 期間欄の()は、現地研修に代わるオンライン研修実施日

2 受講者数欄の（ ）は、オンライン研修受講者数で内書

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 令和 5 年 5 月 13 日～ 6 月 18 日（うち 8 日間） 受講者数 64 人
- ② 令和 5 年 8 月 12 日～19 日 受講者数 54 人

4 森林インストラクター資格認定事業

令和 5 年度森林インストラクター資格試験の受験申込者数は 331 人（前年度 283 人）、合格者数は 141 人（同 109 人）で、平成 3 年度当初からの合格者数の累計は 4,904 人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

令和 5 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（令和 5 年 2 月 1 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（令和 5 年 6 月 1 日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 24 日	札幌市	北海道経済センター	11 人
	仙台市	ショーケー本館ビル	17 人
	東京都	JA 共済ビルビジネスカンファレンスセンター	157 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	45 人
	大阪市	ツイン 2 1 MID タワー	62 人
	高知市	高知城ホール	9 人
	福岡市	電気ビル本館	26 人

④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 18～19 日	東京都	林野会館	141 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（令和5年12月7日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（令和5年12月15日）
- ⑦ 令和5年度の登録更新の開始（令和5年11月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日等	開催地等	本部出席者
道央	5年7月31日	北海道札幌市	木下専務理事
旭川	5年8月3日	北海道旭川市	木下専務理事
帯広	5年7月27日	北海道大樹町	沼田理事長
北見	5年8月4日	北海道北見市	沼田理事長
函館	5年10月2日	北海道八雲町	木下専務理事
青森 (研修会)	5年10月4日～5日	秋田県仙北市	沼田理事長
秋田 (研修会)	5年10月4日～5日	秋田県仙北市	沼田理事長
前橋	5年8月7日	群馬県前橋市	沼田理事長
東京	5年7月20日	東京都江東区	木下専務理事
長野	5年6月20日	長野県長野市	木下専務理事
名古屋	5年7月21日	書面決議	
四国 (研修会)	5年10月30日	徳島県三好市	木下専務理事
九州	5年8月21日	書面決議	

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

令和5年度末における会員数

区 分		市 町 村	事 業 体	計
正 会 員	道 央 支 部	8	6	14
	旭 川 支 部	10	8	18
	北 見 支 部	9	1	10
	帯 広 支 部	6	2	8
	函 館 支 部	17	8	25
	青 森 支 部	19	9	28
	秋 田 支 部	12	8	20
	前 橋 支 部	13	23	36
	東 京 支 部	8	8	16
	長 野 支 部	4	5	9
	名 古 屋 支 部	3	1	4
	四 国 支 部	10	6	16
	九 州 支 部	9	2	11
	本 部	1	3	4
	小 計	128	91	219
賛 助 会 員		-	17	17
合 計		128	108	236